

## 記入例2 介護契約の締結についての代理権の付与を求める場合

申立書を提出する裁判所

作成年月日

受付印		<b>保 佐 開 始 申 立 書</b>
<p>(注意) 登記手数料としての収入印紙は、貼らずにそのまま提出してください。</p> <p>この欄に申立手数料としての収入印紙を貼ってください(貼った印紙に押印しないでください)。</p> <p>申立手数料                  { 保佐開始の場合800円分                  { 保佐開始+同意権拡張(☆)の場合1,600円分                  { 保佐開始+代理権付与の場合1,600円分                  { 保佐開始+同意権拡張(☆)+代理権付与の場合2,400円分</p>		
貼用収入印紙	円	
予納郵便切手	円	
予納収入印紙	円	

準口頭	関連事件番号	平成	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

<input type="radio"/> 家庭裁判所 御中 平成 <input type="radio"/> 年 <input type="radio"/> 月 <input type="radio"/> 日	申立人の 記名押印  甲山春子 (印)
---	------------------------------

添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の住民票又は戸籍附票 <input checked="" type="checkbox"/> 本人の登記されていないことの証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 本人の診断書(家庭裁判所が定める様式のもの) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の財産に関する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 保佐人候補者の住民票又は戸籍附票 <input checked="" type="checkbox"/> (同意権拡張又は代理権付与を求める場合)同意権、代理権を要する行為に関する資料(契約書写し等) <input type="checkbox"/>
------	--

申立人	住所	〒 000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町00丁目00番00号 ( )方
	フリガナ氏名	大正昭和平成 マヤマ ハルコ 甲山 春子 ( )年 ( )月 ( )日生 ( ) ( )歳
	職業	無職
	本人との関係	※ 1 本人 ② 配偶者 3 四親等内の親族 ( ) 4 (未成年・成年)後見人 5 (未成年・成年)後見監督人 6 補助人・補助監督人 7 任意後見受任者・任意後見人・任意後見監督人 8 市区町村長 9 その他 ( )
本人	本籍(国籍)	00都道府県00市00町00番地
	住所	〒 000-0000 電話 00(0000)0000 00県00市00町00丁目00番00号 00特別養護老人ホーム ( )方
	フリガナ氏名	明治大正昭和平成 マヤマ 一郎 甲山 一郎 ( )年 ( )月 ( )日生 ( ) ( )歳
	職業	無職

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

保佐人を付する必要がある方について記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、当てはまる番号を○で囲み、3又は9を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。 ☆民法第13条第1項に規定されている行為については、申立ての必要はありません。

申 立 て の 趣 旨	
本人について保佐を開始するとの審判を求める。	
(必要とする場合に限り、当てはまる番号を○で囲んでください。)	
1 本人が以下の行為（日用品の購入その他日常生活に関する行為を除く。）をするにも、その保佐人の同意を得なければならないとの審判を求める。(☆)	
② 本人のために以下の行為について保佐人に代理権を付与するとの審判を求める。	
(行為の内容を記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
スに付き、介護契約を結ぶこと	

別紙を利用する場合は、同意権と代理権を  
区別して記入してください。

申 立 て の 理 由	
(申立ての動機、本人の生活状況など具体的に記入してください。書き切れない場合は別紙を利用してください。)	
本人は認知症の高齢者で、2年前から〇〇特別養護老人ホームで生活している。介護契約を結んで現在入所しているホームでのサービスが受けられるようにしたいが、本人一人で手続を行うことができないので本件を申し立てた。	
申立人は、高齢で体調もあまりよくないので、保佐人には、本人の二女 乙野 秋子を選任してもらいたい。	
保 佐 人 候 補 者	住所 〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 〇〇 ( 〇〇〇〇 ) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 (           方)
	フリガナ 大正 〇〇年 〇月 〇日生 氏 名 乙野 秋子 平成 ( 〇〇 歳)
〔適当な人がいる場合に記載してください。〕	職 業 無 職 本人との関係 二 女
	勤 務 先 電話 (           )

この申立てをするに至ったいきさつや  
事情を分かりやすく記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ☆民法第13条第1項に規定されている行為については、申立ての必要はありません。 保佐 (2/2)

法人の場合には、商業登記簿上の名称又は商号、代表者名及び主たる事務所又は本店の所在地を適宜の欄を使って記載してください。